

令和5年度 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：合同会社ローカルSDクリエーション

活動地域：福井県丹南地域

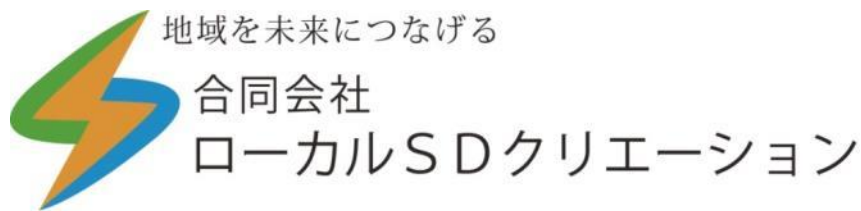
活動におけるテーマ

『里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築』

本事業への関わり：2年目

活動団体と地域の紹介

活動団体：



設立：2020年4月

企業理念：

自然環境を基軸に地域の資源を発掘・創造・活用し地域の持続的発展（Local sustainability development）の創造を目指す

地域の現状と課題

多様な地域資源



里地里山・里海



環境に配慮した米



コウノトリ



交流体験を行う団体



農家民泊



2023年度末
北陸新幹線敦賀延伸

福井県を訪れる観光客のうち
自然目的は第3位！（R2年度）



観光需要を活用し、都市住民との
交流による里地里山・里海の保全
体験を活性化させるチャンス！

地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

丹南地域の自然を基盤に農林水産業と人と人が絆で結ばれた経済循環を構築することで元気な里山・里海

地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

- 地域の自然環境を活用した保全・交流体験活動の連携

↳ 活動を連携させサービスとして提供するハブ組織

- 自活的資金調達で持続的な環境活動の循環

↳ 収益プログラム運営と収益化できる活動の企画・運営

今年度取り組みたい事（本事業でチャレンジしたい事）

- 収益化できる価格に見合った体験プログラムの開発、旅行会社など一般企業と協力した事業企画
- 地域の自然資源や農林業資源を活用し起業や創業を目指すメンバーの発掘と支援、CFなど多面的な資金調達方法の模索
- SNS等を用いた情報発信サイトの立ち上げと運営、情報発信による活動のPRと社会的注目度の増加

現時点の地域版マンダラ

福井県丹南版 地域循環共生圏マンダラ (2023年2月現在)

活動テーマ: 里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築 (活動1年目)

地域の自然を基盤に農林水産業と人と人が絆で結ばれた経済循環を構築することで里山・里海を元気に!



活動① 里山の保全

※主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・水の里しらやま ・白山自治振興会 ・里楽の会 ・赤坂みらい塾 ・サツナギ ・水辺と生き物を守る農家と市民の会
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全体験での収益化プログラムの企画・運営(竹炊飯、アウトドア料理、森カフェ等) ・自然環境保全活動への体験者の受け入れや指導者の人材育成
主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・農家民泊 ・太陽広場(キャンプ場) ・金華山グリーンランド(コテージ)
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動団体連携した体験参加者の宿泊者受け入れ
主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省 ・福井県自然環境課 ・里山里海湖研究所 ・越前市農政課
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知見からのアドバイスや各種活動支援 ・役所内及び地元調整支援
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃した竹林をはじめとした里山の環境向上 ・自然環境教育の普及・啓発 ・竹の利用価値の再認識 ・自活的資金調達による持続的活動の創出

地域の自然環境を活用した保全・交流体験活動を連携

↓ 収益化

自活的資金調達で持続的な環境活動の循環

貢献②

経済

収益プログラム運営による地元観光業への経済効果、グリーンツーリズム活性化

協働と連携構築 (支援・ハブ組織)

主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社ローカルSDクリエーション ・金融機関(予定) ・EPO中部 ・旅行会社(予定) ・観光協会(予定)
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全などに取り組む団体と企業等との活動連携コーディネート及び伴走支援 ・各主体による里山里海保全活動のPR(ポータルサイトなど)やツアー運営 ・融資、クラウドファンディング等の活動資金調達に関する相談や支援
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全活動の自活的資金調達 ・丹南地域の観光産業の活性化 ・地域の自然環境の魅力の周知や農産物のブランディング強化

貢献③

社会

自然環境教育の普及・啓発、流域連携保全の構築、活動団体と企業との連携構築、里山と里海保全のつながり創出

活動② 里海の保全

主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングショップアクアマリン福井 ・合同会社ローカルSDクリエーション ・漁協・海士協会 ・水の里しらやま ・越前町(予定) ・里山里海湖研究所
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林整備体験で出た竹を用いた漁礁の作成指導と設置 ・ビーチコーミングを活用した海洋ごみの回収とインテリア等への活用
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋生態系の保全 ・自然環境教育の普及・啓発 ・竹や海洋漂着物の利用価値の再認識

活動③ 魚礁の効果検証

主 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングショップアクアマリン福井 ・合同会社ローカルSDクリエーション ・地元旅館 ・里山里海湖研究所
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な漁礁の開発と効果の検証 ・シュノーケリングによる漁礁の観察会の開催 ・設置した漁礁の様子をSNS等で情報発信
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・里山資源のワイズユース、流域連携保全構築 ・水産資源の産卵床や隠れ家の創出 ・収益事業としての運用、観光産業の活性化

※ 主 体 の説明:
■ ...活動団体
■ ...宿泊事業者
■ ...民間企業、
■ ...行政機関

活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

地域資源の利活用を目指し環境保全
や体験交流活動を行っているが・・・

- ・ 活動メンバーの高齢化や限定化
- ・ 団体単位では資源規模が小さい
- ・ 活動資金が持続的でない
- ・ 人口減や気候変動による里地里山・里海生態系の悪化

地域のありたい未来

- ・ 活動団体が連携し互いに補完しながら実施する環境保全や体験交流活動を活性化することで多くの人を訪れる地域
- ・ 里地里山と里海が流域でつながれた広域的な自然再生活動の実施
- ・ 自然保全や交流体験活動の収益化による活動団体の自立的資金調達

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

モデルプログラムの企画と実施

出典：EPO中部「活動見える化プログラム」チャート図

活動1: 里山の保全活動

竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食

活動2: 里海の保全活動

竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置

活動3: 竹漁礁効果の検証や観察

効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催



想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

【体制】

- ・ ダイビングショップ・漁協&海士協会
- ・ 自然保護団体・大学等研究機関
- ・ 行政(国・県・市町村)等

【資金】

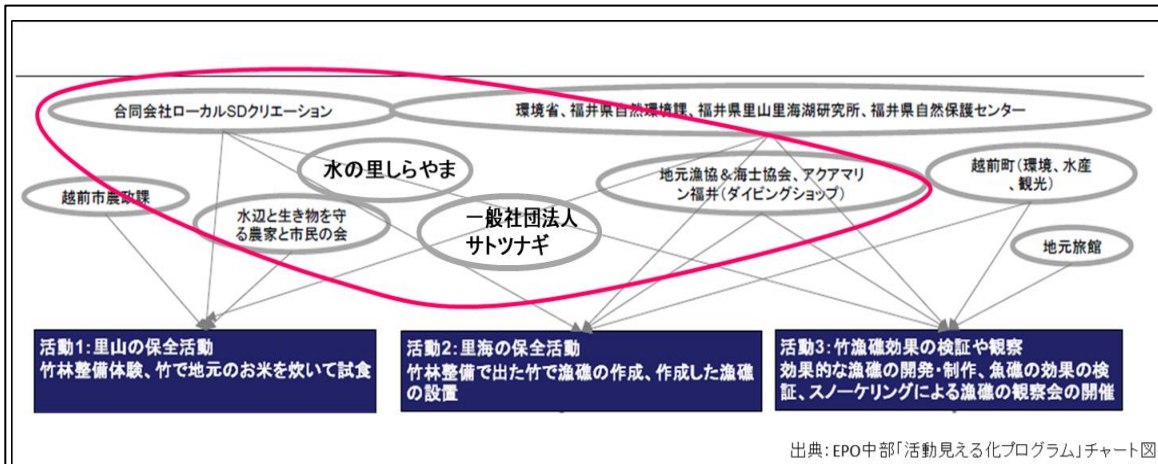
- ・ 自己収益化(観光客・体験交流参加者)
- ・ プラットフォーム事業
- ・ クラウドファンディング

【資源】

- ・ 整備の必要な竹林(里山)
- ・ 地域のお米
- ・ 越前海岸の里海

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ



概要

テーマとして行っている3つの事業を事務局の弊社がハブ組織となり関係団体、ダイビングショップ、行政など関係機関をつなぐことで実施

事業企画や合意形成

事業の企画等はSHミーティングや個別打ち合わせにより立案

情報発信

弊社ホームページやEPO中部など支援組織が実施

←新たに^{ステークホルダー}加わってほしいSH

- ・ 旅行事業者
- ・ 金融機関
- ・ 宿泊事業者
- ・ 20～40代の現役世代

←想定している課題・阻害要因

◆ 環境

- ・ 活動ノウハウと人材育成
- ・ 活動による効果の専門的検証

◆ 経済

- ・ CFなどを活用した多角的な資金調達
- ・ 環境活動の収益化への抵抗感、
- ・ 収益化に見合ったサービスの提供

◆ 社会

- ・ 情報発信などの充実
- ・ SH内間の自然再生への価値観の差
- ・ 地域の自然環境の魅力の周知や農産物のブランディング強化

年間スケジュール

